

令和8年度に向けて

～令和7年度 県北教育事務所経営方針・グランドデザインから～

この1年間、「夢を育み 明日が待たれる 魅力ある学校づくり」のために、県北管内の74校すべての学校において、自校の課題を適切に捉え、目標を設定し、組織的にその解決に取り組んでいただきました。その取組と先生方のご努力にあらためて感謝申し上げます。

令和8年度に向けて、県北教育事務所経営方針及びグランドデザインをもとにした取組の成果と課題をまとめました。各学校におかれましても、年度末の反省と次年度に向けた目標設定の参考としていただけたらと存じます。

次年度も、すべての子どもに未来を切り拓く力を育成するために、学校を支える教育事務所としてたゆまぬ努力と改善に努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

◎人事課から

◇ 学校経営や運営の充実、組織力強化に向けた支援

(信頼される学校づくりに向けた自己点検結果〔教職員用〕から)

- ・ 職場は指導上の問題や悩みを気軽に話せる雰囲気になっている **3.69P** (R6:3.66P)
- ・ 管理職が積極的に動き、様々な課題に対して有効な具体策を示して職員をリードしているため、指導にあたっての不安は少ない **3.76P** (R6:3.67P)

引き続き、管理職による温かい職場づくりの推進、若手教職員への細やかな支援をお願いいたします。

◇ 働き方改革の推進 (目標) 月の時間外在校等時間 45h 超ゼロ

- ・ 令和8年1月の時間外在校等時間が45時間を超えた管内教職員 **10.6%** (昨年同月:10.9%)
(信頼される学校づくりに向けた自己点検結果〔教職員用〕から)
- ・ 働き方改革を意識し、昨年度よりも時間外勤務時間が縮減できている **3.29P** (R6:3.38P)

働き方改革の目的は、教員の人間性や創造性を高め、子供たちに対してより効果的な教育活動を行うことにあります。管理職の皆様には、時間外在校等時間縮減に加え、専門職としての教員のやりがいや誇りを醸成し、実感できる声かけや評価等の取組の推進をお願いいたします。

また、令和7年11月20日付け義教第1867号「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う対応について(通知)」において、『学校長が作成する「基本的な方針」に、「業務量管理・健康確保措置の実施に関する事柄」の内容が確実に含まれ、学校運営協議会等での承認を得なければならない。』とされ、法改正に伴った適切な対応を求められました。次年度に向けた準備、対応をお願いいたします。

◇ 学校事故の未然防止 (目標) コンプライアンス事故ゼロ

(信頼される学校づくりに向けた自己点検結果〔教職員用〕から)

- ・ コンプライアンス推進委員会を基にした研修会は、服務規律の確保等を図り、信頼される教職員となることにつながっている **3.87P** (R6:3.85P)
- ・ 怒りを抑えたり、自己の感情をコントロールしたりすることの大切さを学ぶアンガーマネジメントの研修を普段の対応に活用している **3.79P** (R6:3.74P)

2月17日(火)に実施したコンプライアンス確保に向けた管内臨時校長研修会において、不祥事はどこでも起こりうるもの、自分事だとらえる必要があること、そして、教職員の不祥事は、児童生徒に深刻な影響と深い傷と与えてしまうということをお伝えしました。次年度も、計画的、そして時期に応じた研修を適切に実施し、教職員一人一人の意識をさらに高めていけるようお願いいたします。

同時に、教職員間の信頼関係を高め、違和感に気付ける職場の雰囲気づくりをお願いいたします。

◎学校教育課から【令和7年度の取組】

○ 学力向上

- ・学習意欲を高め、子供が主体となる授業づくり
- ・問いの発見と解決に重点を置く探究的な学びの充実
- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実とICTの効果的な活用
- ・知識・技能と読解力・論理的思考力等を身に付けるためのバランスの取れた指導の充実

○ 生徒支援の充実

- ・生徒指導の実践上の視点を生かした授業づくり・集団づくり
- ・新たな不登校児童生徒やいじめを出さない魅力ある学校づくり・学級づくり
- ・一人一人のニーズに応じた多様な学びの場や居場所の確保
- ・新たな課題に対する早期発見に向けた組織的な対応と関係機関との連携の強化



□ 信頼される学校づくりに向けた自己点検表結果から

- ・「アウトプットに重点を置いた授業づくり」 … 3.38P (R6:3.34P)
- ・「法律等を踏まえたいじめの認知、早期発見と早期対応」 … 3.77P (R6:3.29P)
- ・「新たな不登校を生じさせないための組織対応」 … 3.75P (R6:3.69P)

今年度の学校訪問では、多くの学校で児童生徒一人一人の関心を高める「問いの発見」や「探究的な学び」の充実、ICTを効果的に活用した授業づくりを拝見しました。また、学びのイノベーション推進事業や英語教育AI活用推進事業では、生成AIを活用した先進的な授業が行われ、参観された先生方にとって、今後の授業づくりの参考となる提案がされました。これらの実践報告書については教育情報ネットワークに掲載されますので、今後の自校の取組の参考にさせていただければと思います。

さて、9月に中教審教育課程企画特別部会から「論点整理」が公表されました。「自らの人生を舵取りすることができる民主的で持続可能な社会の創り手の育成」を基本に据え、「主体的・対話的で深い学びの実装」、「多様性の包摂」、「実現可能性の確保」の3点を一体的に具現化することを目指しています。予測困難な未来社会を力強く生き抜く児童生徒の育成のため、引き続き魅力ある学校づくりに教職員一体となってご尽力いただきますようお願いいたします。

また、「信頼される学校づくりに向けた自己点検表結果」からは、「法律等を踏まえたいじめの認知、早期発見と対応」の項目が昨年度と比較し0.48P上昇しました。いじめの認知件数も昨年度より報告数が上がっており、教職員一人一人の危機意識の高まりが感じられます。

今後もいじめの認知に関する正しい理解と、校内での情報の共有など組織的な校内体制づくりをお願いいたします。

令和8年度に向けた視点

- RPDCAサイクルを確立し、児童生徒の学力向上を図る
 - ・「学力向上プラン」に基づく授業改善の一層の充実と検証・改善
- 校内フリースクール等の設置による多様な学びの場の構築と個に応じた指導の充実
- 新たな生徒指導の課題への対応
 - ・発達段階に応じた適切な情報モラル教育の実施
 - ・外部関係機関（警察、サイバー関係等）との連携
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

◎県北教育事務所 令和8年度初めスケジュール(予定)【人事課・学校教育課】

- 4月9日(木) 学校概要作成説明会【予定】(オンライン)
- 15日(水) 臨時的任用職員研修会
- 16日(木) 非常勤講師研修会
- 17日(金) 管内学校教育指導方針説明会(オンライン)
- 21日(火) 学校概要対面審査(～24日)
- 27日(月) 新任特別支援学級担任及び新任通級指導教室担当者研修会
- 5月19日(火) 管内新任管理職研修会①
- 20日(水) 管内生徒指導主事研修会①・専門医による相談①
- 29日(金) 管内管理職研修会①・学力向上推進協議会①

